



Super Taikyu Series 2020 Round 1

Fuji SUPER TEC 24 Hours Race RACE REPORT



Audi Sport
customer racing



Audi

Team AS Sport

ピレリスーパー耐久シリーズ 2020 開幕戦 NAPAC 富士 SUPER TEC 24 時間レース

2020/9/4-6

富士スピードウェイ (1 周 4.563km)

Audi Team AS Sport

#505 A.T.FIELD Audi R8 LMS GT4

予選 :ST-Z クラス 7 位 (全体 19 位)

決勝レース :ST-Z クラス 6 位完走 (全体 23 位)



新型コロナウイルスの影響で大幅に延期になっていた「富士 SUPER TEC 24 時間レース」が9月4日～6日に静岡県富士スピードウェイにて開催されました。

豪雨により数時間に渡る赤旗中断や幾度ものセーフティーカーが導入される非常に難しいレース展開の中、#505 A.T.FIELD Audi R8 LMS GT4 は序盤での他クラスマシンからの接触を受け、満身創痍の状態に。

しかし4人のドライバーとメカニック、スタッフ達の懸命なチームワークにより478LAPを力強く走り切り、Audi Team AS Sportにとって初陣となる24時間レース、激戦のST-Zクラスを6位で完走を果たしました。

Audi

Team AS Sport

[予選レポート]

9月4日(金)富士24時間レースの公式予選が行われた。

前日から練習走行にてマシンのセットアップを仕上げてきたものの、Audi R8 LMS GT4 に課せられた BOP(性能調整)は重く、本来の光る速さを見せられずにいる中、最善の結果を残すべくチームは予選に挑んだ。

Aドライバー予選は西村選手が担当。

青空の下、コースインしてマシンをウォームアップ。

2周目にアタックに入り、まずは1分52秒555をマーク。

続く周もアタックを続行し、セクター1まで大幅にベストを更新したものの、100Rにてコースアウト。マシンにダメージはなかったが、その後もトラフィックに引っかかりタイムは更新できず…。悔しさが残る中、西村選手は予選を終える事になった。

続くBドライバー予選では岡本選手がマシンに乗り込んだ。

前クラスの予選にてコース上にアクシデントがあり、赤旗が掲示されていた為、予定よりも遅れて予選が始まった。

岡本選手は2周目からアタックを開始し、まずは1分55秒46をマーク。最終的に4周連続アタックを敢行して、1分53秒828までタイムアップして予選を終える。

AドライバーとBドライバーの合算タイムにてスターティンググリッドが決まる為、#505 A.T.FIELD Audi R8 LMS GT4はクラス7位(総合19位)から決勝レースを闘う事が決まった。

続くCドライバー予選では田ヶ原選手がガソリンを多く積み、長いレースに向けたシミュレーションを行いながらマシンバランスを再度チェック。決勝レースに向けたポジティブなデータを集めていく。

順調に走行を重ねて、次はDドライバー予選にて藤原選手がステアリングを握った。

藤原選手も決勝レースに向けてブレーキのフィーリングやセットの確認作業をこなして無事走行を終えた。

セッションが終わった後もチームはドライバーからのフィードバックを基にAudi本来の速さを少しでも取り戻すべく作業に当たった。

予選結果だけを見ると激戦のST-Zクラスの中で下位に沈んでしまった格好だが、決勝レースに向けてはポジティブな要素も多く、長いレースを闘う準備を整えた。



Audi Team AS Sport



[決勝レポート]

9月5日(土)決勝日は朝からスタンドにも観客が入り、ピットビューイングが行われるなど、万全の感染症対策を行ったうえで、本来の華やかなレースの光景が広がった。

そして迎えた午後3時、ドライ路面で決勝レースがスタートとなった。

スタートドライバーは西村選手が務め、混乱が起きやすいオープニングラップもミスなく切り抜けた。その後もコンスタントに安定したラップを刻みながら前を追いかけていく。

しかしスタートから45分が経過したあたりで、セクター1にてぼつぼつ雨が降り始めてきた。数分後にはコース全域で雨が確認できる状態になるが、ラップタイムの落ち幅的にはまだウェットタイヤに変えるタイミングではない為、スリックタイヤのままコースにステイする。

雨は強くなったり弱くなったりを繰り返し、非常に難しいコンディションの中、慎重にラップを重ねていたが、スタートから1時間が過ぎたあたりで、1コーナーにて他クラスのマシンにイン側から接触され、スピンしてコースアウト。なんとかコースに復帰するものの、マシンはリアディフューザーに大きなダメージを負い、アライメントも崩れてしまいコントロールが難しい状態に。それでも西村選手はコースに留まり予定の周までステイントを執行し、開始1時間20分でピットイン、岡本選手にステアリングを託す。タイヤはリア2本のみ交換でコースに復帰。

しかし直ぐにフルコースイエロー(以下FCY)が導入され、全車が50km規制になる。そのFCY中も雨は強くなり、いよいよスリックタイヤでは走れない路面状況になり、再度ピットインして4本ウェットタイヤにチェンジしてコースに戻る。

その後セーフティーカー(以下SC)が導入されるものの、開始2時間を少し過ぎたあたりでレース再スタート。完全なウェットコンディションの中、慎重に周回を重ねていく。

やはりアライメントに違和感を感じながらもナイトセッションに突入。かなりの雨量と暗さで過酷なコンディションの中、レースコントロールより開始3時間7分で豪雨による赤旗中断が通達された。

マシンは全車ストレートに並べられ、コンディションが回復するのを待つ。

雨は一向に強くなり続け、時より雷が轟くなどかなりの荒れた天候となった。

そのまま1時間ほど経過して少し雨が弱まってきたころ、予定通りコース上に大きな花火が打ち上げられた。参戦しているチームにとって過酷なレースの中、笑顔が見られるつかの間のリラックスタイムとなった。

再スタートに向けて万全の体制を整えながら、待つこと4時間。

22時30分過ぎにようやくSC先導により再スタートが切られることになった。

その後、藤原選手にドライバーチェンジしてコースに復帰。SCが解除されレースが再スタートした矢先、再度SCが導入されるなど依然として雨量は多く、各所でハイドロプレーニングが起きる非常に難しいコンディションの中、ラップを刻んでいく。

そして1時12分にピットインをして、田ヶ原選手がマシンに乗り込む。コンディションは変わらず非常に難しい状態ながらもコンスタントに周回を重ね、チームにマシンのインフォメーションを共有する田ヶ原選手。そしてそのインフォメーションを受けてチームは次のピットインでメンテナンスタイムを行う事を判断。

2時20分過ぎ、SC導入中にピットインをして10分間のメンテナンス作業を行う。限られた時間の中で不具合のあった部分を出来る範囲で修復、変更していく。



Audi Team AS Sport

ちょうど 10 分にて作業を終える事に成功しピットアウト。田ヶ原選手の連続スティントでコースに復帰していく。

雨量が増えたりと難しいコンディションの中、攻めた走りを披露して 1 人の最大連続走行時間である 3 時間を間にピットインをして西村選手にステアリングを託す。その後も西村選手から藤原選手へバトンを繋ぎ、長い夜が明けて徐々に雨も弱くなり始める。

8 時 30 分に田ヶ原選手にドライバーチェンジをして、タイヤもスリックに交換。

コースもほぼドライコンディションになり始め、再び前を追いかけて行く。コンスタントに走行しながら岡本選手へ交代、その後そして西村選手が 3 回目のスティントを走行する。この頃にはマシンバランスも徐々に改善し始めてきており、少しずつタイムを更新していった。

そして藤原選手に交代する頃には再び雨がぱらつき始め、再度ウェットタイヤを装着してレースに戻った。

その後 12 時 52 分頃、田ヶ原選手に交代してスリックタイヤにてコース復帰。

14 時頃最後のピットストップを終えて、西村選手がコースに戻っていく。そして迎えた 15 時。478 周を走り切り ST-Z クラス 6 位 (全体 23 位) にて無事にチェッカーを受けた。

チェッカー後、パレードランを終えたマシンは想像以上に破損が目立ち、序盤の接触の大きさを物語っていた。

レース結果としては期待していたものには届かなかったが、接触の影響もありマシンバランスが良いとは言えない中、非常に難しいコンディション下で 24 時間しっかりと完走を果たしたことはチームにとって大きな収穫である。Audi Team AS Sport にとって初陣であるこのレースを糧に、次のレースでのリベンジを誓う。



[チーム監督コメント] 澤田栄宏

約半年ほど開幕戦が遅れ大型台風が接近中の富士 24 時間レースでしたので荒れた展開を予想していましたが、赤旗や SC の導入で終始クリーンなレース展開で 24 時間走り切ることができました。チームのマシンは BOP の影響を受け終始スピード不足でレースらしい走りができず完走することが精一杯でしたが、今回のデータや経験を活かし次戦に備えます。コロナ禍と荒れた天候の中、現地までご来場くださいましたお客様、レースの再開に尽力頂いた事務局や関係者の皆さま、そして 24 時間応援頂いたスポンサー各社やファンの皆さま、Audi Team AS Sport スタッフや関係者皆さまに感謝いたします。今シーズンはスケジュールもタイトですが引き続き応援よろしくをお願いします。



[A ドライバーコメント] 西村元希

チームにとっても、マシンの Audi R8 LMS GT4 にとっても初戦ということで、かなり苦戦をした部分は有りましたが、毎セッション出来る限りの改善をしていくことで、セッティング、走らせ方など次戦に向けて方向性も見えたので良かったです。今回は、ドラブル無く完走出来たことが、何よりの成果だと思うので、次に繋げていきたいと思います。個人的には予選アタックでミスをした事が反省ですが、攻めた結果なので、次はしっかりと纏めたいと思います。最後に、チームをサポートして頂いた、チームスタッフの皆様、スポンサー各社様、サーキットまで応援に来て頂きました皆様、本当に感謝致します。引き続き、応援の程、よろしくお願い致します。



[B ドライバーコメント] 岡本武之

今回の富士 24 時間は天候に振り回されたレースでしたが、色々と反省点もある中で完走できたことで今後に繋がる良い経験になった点もあったと思います。一歩ずつ前進していきますので応援宜しくお願い致します。



[C ドライバーコメント] 田ヶ原章蔵

まずコロナ感染拡大の中、レースが開幕し参戦するにあたり多大なるサポートを下された全ての皆さんに感謝しております！本当にありがとうございます！レースの方ですが、今回がチームとしての耐久レースでは初陣になりデータや情報不足の中、みんなが大きなミスも無く無事最低目標であった完走は達成する事が出来ました。開幕前の BOP(性能調整)により週末は我々 Audi 勢にとっては厳しいものになりましたが、ルールですからきちんと受け入れ、更にスピードを磨けるように次回以降挑戦し続けて行きたいと思いますので、引き続き皆さんの応援宜しくお願い申し上げます！



[D ドライバーコメント] 藤原能成

まずはコロナ渦中の中、本当に皆様の協力を得て開催できた事を喜ばしく思います。肝心のレースはテストデイ後に厳しい BoP 調整を受け、練習走行の時点で厳しい闘いになっておりました。事故や接触無く確実なレース運びをすればサバイバルレースの中、上位に食い込めるとも予想しましたが、それも雨で赤旗中断という車には最も優しい環境となり難しくなりました。とは言え私自身この車両でロングは初、しかも夜の雨と最悪な条件の中でも無事にバトンを渡せた事だけが救いだと思います。個人的な課題も山積していますが、チームに少しでも貢献できるように邁進したい所存にございます。今後も応援、宜しくお願い致します。

